

○第三章 名辭概論

何レノ判斷モ皆ナ二個ノ事物ヲ比較シテ共同異優劣ヲ判定スル者ナレハ之ヲ名辭ニ著ハセハ二個ノ名詞ト之ヲ連續シテ共同異優劣ヲ示スノ名辭ナカル可カラズ二個ノ名詞ヲ名辭ト云ヒ其優劣異同ヲ示スノ名辭ヲ連續ト云フ此三者備ハル者ハ命題ナリ茲ニ論語之善キ書物ホヰト云ヘル命題アラシニ論語ト善キ書物トハ名辭ニシテ此二名辭ノ關係ヲ示セル之ホヰトハ連續ナリ何ントナレハ論語ト云ヘル一種類ト善キ書物ト云ヘル他ノ種類トヲ比較シ其關係ヲ觀察シテ論語モ亦善書部中ノ者ナルヲ示セハナリ名辭ハ必スシモ二三若クハ四五ノ文字ヲ以テ成ルベキ者ニ非ズ如何ニ數多ノ文辭ヲ連續スルモ矢張り一名辭ト爲ルヲアリ且ツ名辭ノ種類ハ一二ニシテ止ラス論語若クハ孟子若クハ英國王等ノ如ク唯ダ一個ノ人或ハ一個ノ事物ヲ指言ス

ル者ハ之レヲ稱シテ特稱名辭ト云ヒ馬或ハ國王或ハ府縣會等ノ如ク諸種ノ馬諸國ノ王諸方ノ府縣會ヲ指言スル者ヲ通稱名辭ト云フ衆多ノ事物ヲ集合シテ成レル者ノ名ハ集合名辭ニシテ集合名辭ハ特稱若クハ通稱ナルヲ得可シ例ヘハ九州ト云ヒ旅團ト云フカ如キハ共ニ集合名辭ナレハ九州ハ特稱ニシテ旅團ハ通稱ナリ又タ實形名辭ト云フ者アリ實形アル物体ノ名ニシテ吾人ノ見又動カヌヲ得ベキモノナリ設ヘハ家石金銀貨等ノ如シ之レニ反スル者ヲ虛形名辭ト爲ス則チ物ノ性質ニシテ實形ノ見ルベキナキ者ナリ例ヘハ氷ノ冷サ板ノ厚サ等ノ如シ水ニハ冷清流動等諸般ノ性質アリテ斯ル性質ノ名ハ皆ナ所謂虛形名辭ナリ又肯定名辭ト云フ者アリ否定名辭ト云フ者アリ肯定名辭ハ通常事物ヲ有スルヲ若クハ事物ノ存在スルヲ云ヒ著ハス者ニテ否定名辭ハ其存在セサルヲ若クハ之ヲ有セサルヲ言ヒ著ハス

意義ヲ全フ
ナル能ハサ
ル者ナリ
含
蓄名辭ト不
ノ別ハ幾ン
ト文法書ニ
所謂ル普通
名詞ト固
名詞トノ別
ノ如シ故ニ
唯ク主物若
クハ屬性ノ
ミヲ現ハス
者ハ不含蓄
名辭ニシテ
主物ト屬性
トヲ現ハス
者ハ含蓄名
辭ナリ
反對
之ヲ内包ノ意義ニ解スレハ戰爭ニ用ユル船舶ナリト知ルベレ乃物ト
云ヘルヲ小刀大刀庖丁等ノ名ナリト見レハ其意義外延ニシテ物ヲ切
ル者ナリト見レハ内包ナリ今マ諸種ノ名辭ヲ取テ之ヲ比較スレバ其
内包外延ノ意義ニ大小廣狹ノ別アルヲ見ン元素ハ金屬ヨリ外延ノ意
義廣ケレド内包ノ意義ニ至テハ金屬却テ元素ヨリ廣シ何トナレハ元
素ノ二字ハ悉皆ノ金屬ヲ含蓄スルハ勿論他ノ單純ナル物品モ亦之ヲ
含蓄スト雖ヒ金屬ノ二字ハ唯ク金銀銅鉄等ノ諸物ヲ含蓄スルノミ是
レ外延ノ意義ヨリ見レハ元素固ヨリ金屬ヨリ廣キナリ其性質上ヨリ
觀察スレハ元素ニハ唯ク單純ニシテ分割ス可ラサル性質アルノミナ
レヒ金屬ハ則チ單純分ツ可ラサル性質ヲ備フルハ勿論其他能ク熱氣
電氣ヲ傳通シ一種異常ノ返射力アリ等ノ性質ヲ備フ是レ内包ノ意義
ハ金屬却テ元素ヨリ廣キナリ亞細亞人ト云ハハ唯ク人ト云フヨリ外

名辭トハ全
ク他ニ反對
スルノ名辭
ニシテ大ニ
反スル小
白ニ對スル
黒ノ如キハ
反對名辭ナ
リ元來有ス
可クシテ有
セサルヲハ
云ヒ現ハス
者之ヲ折服
名辭ト云フ
囉爾等ノ如
シ視力有カ
ハ人ノ有ス
可ヤ者ナレ
ハ之ヲ失ス
ルカ故啞ト
爲リ盲ト爲
ルノミ
延ノ意義狹シト雖ヒ内包ノ意義ハ則チ廣ク日本人ト云ハハ亞細亞人
ト云フヨリ外延ノ意義狹フシテ内包ノ意義廣シ此ノ如キカ故推理學
士ハ簡單ニ内包外延ノ關係ヲ述ヘテ曰ク内包ノ意義増セハ外延ノ意
義減シ外延ノ意義擴張スレハ内包ノ意義縮少スト
言語文章ハ世人ノ因テ以テ其思想考案ヲ他ニ知ラシムル所ノ者ナリ
思想ヲ見ルベカラズ聞クベカラズ考案モ亦然リ唯ク口之ヲ言ヒ筆之
ヲ書スルニ及ンテ初テ之ヲ見聞スルヲ得ベシ故ニ言語文章ハ人生ノ
最大要具ニシテ苟モ是レナクンハ奇想妙案アリト雖ヒ胸中ノ奇ヲ外
ニ現ハス能ハサルナリ智者アリト雖ヒ世ヲ利シ已ヲ益スルノ極テ少
ナカラシ其緊要貴重ナル既ニ此ノ如クンハ之ヲ用ユル亦苟モス可ラ
サルナリ然ルニ世人ハ其用法ヲ鄭重ニセス粗漏輕忽至ラザル所ナキ
ヨリ夥大ノ誤謬ヲ來ス多シ慎マザル可ンヤ言語文章ヲ組成スル者

ヲ語辭ト爲ス故ニ言語文章ノ用法ヲ慎マント欲セハ先ツ語辭ノ用法
ヲ慎マザル可ラズ特ニ語辭ハ思想ノ活働ニ欠ク可カラザル者ナレハ
語辭ノ精粗ニ因テ思想モ亦精粗ノ別ヲ生ス然ルニ文明ノ未ダ開發セ
ザルヤ語辭幾ソド其粗漏ヲ極メ同一文章ニシテ數種ノ意義ヲ有スル
者甚ク多ク其意義漠然トシテ限境ナキ者少ナカラズ特ニ中古以來西
方ノ文學入テ上下皆ナ漢字ヲ用ヒ漢字ニハ皆ナ數種ノ邦訓アリテ同
一文字モ何レノ意義ニテ使用セルカヲ判別スルノ容易ナラズ是レ本
邦ニ在テハ語辭用法ノ慎マサル可ラサルヲ泰西諸國ヨリ甚クシキナ
リ見ヨ金貨ノ金ハ借金ノ金ニ異ナリ小人ノ小ハ小屋ノ小ト同シカラ
サルニ非スヤ今マア小人にして仁なる者なし矮子國の人と皆々
小人など故又矮子國の人と皆々不仁者などト云ハハ三尺ノ童子モ尙
ホ其不經ヲ笑ハン若シ小人ノ字義唯ク一ニシテ判然日ヲ睹ルカ如ク

ミル氏腰味
名辭ヲ論シ
テ曰ク利器
若シ之ヲ得
ル能ハスン
ハ吾人ハ所
ニ有スル所
ノ器械ノ欠
點ヲ知ルコ
ニ要ナリ故
ニ余ハ讀者
ニ向テ吾人
今日用ユル
所ノ言語ハ
斯ク迄腰味
ナルヲ熟
知セラレン
ヲ希望スト
善イ哉官ヤ
如何ナル名
辭ト雖
腰味ナル
言語文章ヲ
探究セヨ二種以上ノ意義ヲ有スル者極メテ多カラシ學者ノ二字モ意

ンハ決シテ此ノ如キ誤謬ナシト雖モ其意義漠トシテ定マル所ナク前
ノ小人ハ君子ノ反對ニシテ君子ナラザル者ヲ云ヒ後ノ小人ハ小サキ
人ノ義ナルガ故此誤謬ヲ生ス同シク東京府會ナリ府會ヲ開クト云ヘ
ハ議事ヲ開クノ意ニシテ府會ヲ移スト云ヘハ會堂ヲ移スノ義ナリ更
ニ府會ノ建議ト云ヘハ府會議員過半數ノ建議ニシテ議員其人ヲ指ス
同一文字ニシテ或ハ人ト爲リ我ハ家ト爲リ或ハ事ト爲ル一字ノ如キ
モ亦然リ三月一日ト云ヘハ年ノ初メヨリ三番目ノ月ノ初日ノ義ニシ
テ一日友人ヲ訪フト云ヘハ或ル日ハ又初日ハ解スルヲ得ベシ此ノ如
キ者之ヲ名辭ノ腰味ナル者ト云フ汎意名辭ト云フモ可ナリ汎意名辭
ヲ使用シテ理ヲ推シ事ヲ論スレハ其誤ヲサル者幾ント稀ナリ故ニ推
理學ニハ汎意名辭ノ使用ヲ忌ム學者試ニ諸般ノ語辭ヲ取テ其意義ヲ
探究セヨ二種以上ノ意義ヲ有スル者極メテ多カラシ學者ノ二字モ意

以テ之ヲ陳義漠然タリ或ハ之ヲ學フ者ト訓讀シテ學ヒツ、アル者則チ書生ト解
述スルハ其功ハスルヲ得ベシ又之ヲ學ベル者ト讀ンテ既ニ學業ヲ卒ヘタル者ト解ス
ミナラスルヲ得ベシ例ヘハ學者先生若クハ學者士君子ト云フカ如シ
○第四章 命題概論
如何ナル之ヲ命題ト云フ乎ハ余輩既ニ前章ニ説キタレハ再ヒ之ヲ説
明セスシテ可ナリト雖モ今マ簡單ニ之ヲ論セン手推理學ニ所謂ル命
題トハ文法書ニ所謂ル文章ニシテ文法家ノ所謂ル文章ナルモノヲ稱
シテ推理學士ハ命題ト云フノミ命題ニ長キアリ短キアリト雖モ二個
ノ名辭ト一個ノ連辭トヲ以テ成ルヲ常トシ又之ヲ合式命題ト云フ例
ヘハ兵之凶器ナリ戰ハ危道ナリ如シ何レモ合式命題ニシテ兵ト凶
器トハ前者ノ名辭戰ト危道トハ後者ノ名辭之トナリトハ兩者ノ連辭
ナリ何トナレハ之トナリトニ因テ天下ノ凶器モ亦多キ中ニ兵ハ其一

部分ナルヲ示シ又タ危道モ多キ中ニ戰ハ其一部分ナルヲ示シ則
チ兵ト云ヘル者ト凶器ト云ヘル者ト一致シ戰ト云ヘルモノト危道ト
云ヘル者ト關係アルヲ示セハナリ通常ハ命題中初ノ名辭ヲ主語ト
云ヒ後ノ名辭ヲ賓語ト云フ前ノ二例ニ付テ云ヘハ兵ト戰トハ主語ニ
シテ凶器ト危道トハ賓語ナリ

命題ヲ大別シテ二ト爲ス曰ク設若、曰ク離攝城若し攻て取る可くんば
之を攻む可し、桀紂若し身を忘るんば國を亡はさる等ノ類、疑辭ヲ挾
ム者ハ設若命題ニシテ戰之正か或之不正なる者あり、堯舜之聖人なら
んば賢人ある等ノ類、説ヲ兩端ニ持スル者ハ離攝命題ナリ其詳ナル
ハ拙稿論法ノ章ニ於テ論述スベシ正格命題ニ四種ノ別アリ斯ハ其形
質ト度量トニ因テ別ル、者ニテ同一ノ命題モ或ハ之ヲ形質上ヨリ觀
察スベシ或ハ之ヲ度量上ヨリ觀察スルヲ得可シ命題ノ廣狹大小ヲ問